



平成22年版 公共建築工事標準仕様書  
(機械設備工事編)に初掲載

## WSP 071 管端つば出し鋼管 継手加工・接合基準

## 塩ビライニング鋼管 リサイクル協会 10周年

- 10年間の歩み
- リサイクル10年間のグラフ
- 工場見学会実績

### Message board

- 堺水道展2009出展  
(第43回水道資機材展示会)
- 全管連創立50周年
- 協会移転のお知らせ
- ちょっとよしみち  
Vol.4

# WSP 071 管端つば出し鋼管継手加工・接合基準仕様化!!

平成22年版 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)に初掲載!!

(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人公共建築協会発行)

平成21年3月規格制定したWSP 071管端つば出し鋼管継手加工・接合基準が第2編共通工事の中で第2章配管工事、第1節配管材料の"表2.2.2 冷温水及び冷却水管の継手"に掲載されました。

"2.5.2.6 管端つば出し鋼管継手による接合"「管端つば出し鋼管継手は、WSP071(管端つば出し鋼管継手加工・接合基準)の規定により工場加工されたものとし、ルーズフランジ接合とする。」と記載されております。

また、平成22年版 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・発行は財団法人建築保全センターにも第2章配管工事、第3節管の接合で2.3.2.6に上記文章が記載されております。

管端つば出し鋼管継手加工(フレア加工)は、ルーズフランジにより接合する工法がその簡便さもあり、現在、全国的に民間需要家へ普及拡大しております。

この掲載により、官公庁需要家の皆様方にもご使用いただければ幸いです。

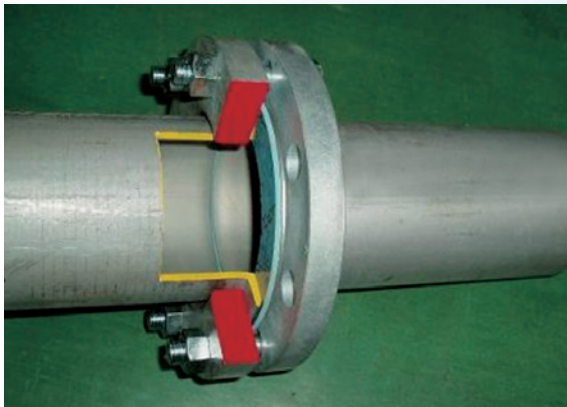
今後ともWSP 071また、各種鋼管、樹脂ライニング鋼管をよろしくお願い申し上げます。



◀管端つば出し鋼管継手加工・接合基準 WSP 071-2009



▶公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成22年版



▲管端つば出し加工(フレア加工)のカットモデル



▲管端つば出し加工(フレア加工)が使用された大型施設

## 標準仕様書その他改正点

### ① JIS G 3452

配管用炭素鋼管→配管用炭素鋼鋼管  
(JIS 改正による名称変更)

### ② JIS G 3442

水配管用亜鉛めっき鋼管300A→500A  
(JIS 改正による最大呼び径変更)

### ③ JWWA K 132

水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管  
50Aまで転造ねじ使用可能(新規)



▲管端つば出し加工(フレア加工) 配管施工事例

# 塩ビライニング鋼管リサイクル協会・10周年

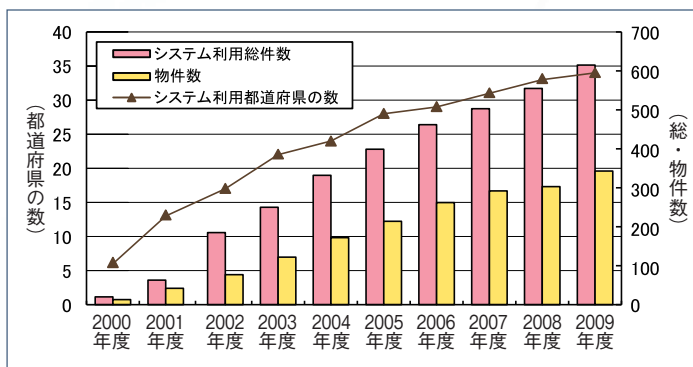
2000年4月1日に発足

## 10年間の歩み

おかげさまで塩ビライニング鋼管リサイクル協会がリサイクル事業を始めまして10年が経過いたしました。需要家の皆様方にはご支援ご協力を深く感謝申し上げます。さて、10年間のあゆみを簡単に振り返ってみますと

1999年	12月	・日本水道鋼管協会が塩ビライニング鋼管のリサイクルシステムを開発、中間集積場14カ所にてリサイクル業務スタート
2000年	4月	・製造メーカー8社により塩ビライニング鋼管リサイクル協会を立ち上げ日本水道鋼管協会よりリサイクル業務引継ぎスタートする ・リサイクルシステム認知度向上のため全国巡回PR活動開始
2001年		・全国巡回PR活動及び随時技術説明会、工場見学会実施
2002年	10月	・全国巡回PR活動 ・中間集積場大幅増設14カ所→234カ所（官公庁、需要家の皆様方のご意見、ご指摘を反映）（日本梱包運輸倉庫(株)と西濃運輸(株)各支店・営業所で受入可能となる） ・「月刊コア誌」に当リサイクルシステム掲載
2003年		・「平成15年版建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説」に当リサイクルシステムが記載される（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、発行：公共建築協会） ・「全管連ジャーナル誌」「物流ニッポン紙」に当リサイクルシステム掲載
2004年		・(財)ベターリビング、循環型社会対応委員会に参加 ・都市公団の改修工事における「塩ビライニング鋼管のリサイクル向上」の協力委員で活動する ・リサイクル工場(関西地区)変更（滋賀・栗東積水工業(株)→和歌山・日建産業(株)） ・リサイクルパンフレット改訂「中間集積場一覧表に住所・電話番号を掲載」する
2005年		・受入基準の緩和「ライニング鋼管の切断方法、ガス・アークでの禁止」の撤廃 ・分離塩ビ管一部再生不可品(埋立て処理)の高炉原料化でJFEスチール(株)と契約、完全リサイクルとなる ・リサイクル工場(関西地区)日建産業(株)で初工場見学会対応
2006年		・「平成18年版建築物解体工事共通仕様書・同解説」に当リサイクルシステムが記載される（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、発行：公共建築協会） ・「平成18年版建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説」に記載される
2007年		・全国巡回PR活動 ・建築環境・省エネルギー情報誌、特集「建築・住宅分野における資源循環とその技術」に当リサイクルシステムが掲載
2008年	10月	・全国巡回PR活動 ・協会事務所移転、東京虎ノ門→東京九段南へ
2009年		・全国巡回PR活動

## リサイクル10年間のグラフ



## 工場見学会実績

北海道開発局、滋賀県、広島市、(独)都市再生機構、給排水設備研究会、(社)建築業協会、日本総合住生活(株)等



リサイクル工場見学会の様子

## 今後の方向

巡回PR活動を中心としたリサイクルシステム認知度向上に努めリサイクルも順調に広がりつつ昨年度までに全国47都道府県中33都道府県下でリサイクルシステムの利用実績がありました。数量的にも徐々に増えていますが、さらにシステムのPRを推進し、利用件数・数量とも増加を目指して行きたいと思っております。

# Message board

## 堺水道展2009(第43回水道資機材展示会)

堺水道展に出展いたしました。あいにく雨の中の展示会となりましたが、WSP 071について記載されているWSPニュース23号の配布や塩ビライニング鋼管のリサイクルのパネル展示を行いました。今後もイベントへの参加をいたしますのでよろしくお願い申し上げます。



▲WSPブース外観



テープカットの様子▶

## 全管連創立50周年!!

全国管工事業協同組合連合会(全管連)が、平成22年6月16日(水)京王プラザホテル東京(東京都新宿区)において開催され、昭和35年(1960年)7月に創立して以来、本年をもって50周年を迎えました。

また、第50回(平成22年度)通常総会・創立50周年記念式典(講演・全国大会)及び開催行事は、東京ブロックの東京都管工事業協同組合連合会が担当し、当日の記念式典では、評論家の森田実氏による記念講演「上下水道のための公共事業必要論」や記念ビデオが上映されました。



▲祝賀会の様子



▲ごあいさつする大澤会長

## 協会移転のお知らせ

### ●日本水道鋼管協会事務所移転

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-8-9 日本水道会館3F

TEL:03-3264-1855 FAX:03-3264-1856

### ●塩ビライニング鋼管リサイクル協会事務所移転

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-8-9日本水道会館3F 日本水道鋼管協会内

塩ビライニング鋼管リサイクル協会

TEL:03-3264-1866 FAX:03-3264-1869

E-mail:hanyuu001@gol.com

平成22年3月23日に  
2階より3階へ移動しました。  
電話番号などは変わりませんので  
よろしくお願い申し上げます。

日本水道鋼管協会(略称:WSP)の小径管部会・ホームページにアクセスしていただければ常に新情報を観ることができます。まずは、<http://www.wsp.gr.jp/syoukei/>まで。

## 編集後記

WSP 071が標準仕様書に掲載されました。平成22年版の機械設備工事監理指針へも積極的に対応しております。

鋼管並びに樹脂ライニング鋼管を需要家の方々へ安心してご使用いただけるようにリサイクルにも努力してまいります。今後もよろしくお願い申し上げます。

## ちよっこ よみみち Vol. 4

ここ10年で目覚ましい変化を遂げている赤坂・六本木エリアにある『京乃とうふや藤野』さんの「よもぎ麩の京風スイーツプレート」。こちらは黒みつのかかったソフトと生クリームが、素材の豆乳の風味を漂わせつつあっさりとした味わいです。そしてもちもち食感のよもぎ麩との組み合わせが、京都創業のお店ならではの和の風格と佇まいを感じさせてくれます。

